アフターサービス

●保証書（別紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から１年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間　9：00 ～ 17：00　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　フリーコール 0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書や専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。
https://www.yupiteru.co.jp/

株式会社ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS2103
ver.2.1

Yupiteru

カメラ一体型ドライブレコーダー

DRY-SV2050dP

取扱説明書

12V車専用

・本機で使用する専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページ（https://www.yupiteru.co.jp/）からダウンロードしてご利用ください。
・安心してお使いいただくために、必ず１～２週間に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。

HDR搭載
（ハイダイナミックレンジ）
白トビや黒ツブレを抑え、より明瞭な映像を記録します。

⚠注 意

・事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。
・電源ONの状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後、電源ランプが３秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

●重要事項●

必ず 1 ～ 2 週間に一度、本機で SD カードのフォーマットを行ってください。

なぜ SD カードのフォーマットが必要なのか…

SDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域（＝不良セクタ）が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。
1 ～ 2週間に一度SDカードをフォーマット（* P.12）することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、「SDカード内にある録画ファイル（保護したファイル含む）」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。（* P.53）

● SD カードは消耗品です。

フォーマットしてもSDカードエラー（* P.63）が頻繁に表示される場合は、SDカードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

● SD カードの買換えは純正品をお勧めします。

どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒にお買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店にSDカードをご注文ください。

確認とご注意

安全上のご注意 …… 4
使用上のご注意 …… 8
もしも事故が起きたら・・・ …… 10
SDカードをフォーマットする …… 12

基礎知識

各部の名称と働き …… 14
1. 付属品 …… 15
2. 別売品 …… 16
3. 付属品・別売品の購入について …… 16
SDカードの取り外し/装着 …… 17
1. SDカードを本体から取り外す …… 17
2. SDカードを本体へ装着する …… 17
動画記録モード …… 18
録画について …… 19
1. 常時録画 …… 20
2. イベント記録
（Gセンサー記録とワンタッチ記録） …… 20
3. ファイル容量の目安について …… 21
4. 上書きモードについて …… 22
5. 延長録画について …… 23
メンテナンスについて …… 24
動体検知機能(Motion Detect)について … 25
1. 動体検知機能をONする …… 26
2. 動体検知機能をOFFする …… 27
3. 録画ファイルを確認する …… 28
初期値について …… 29

すぐに使う

本機の取り付け …… 30
1. 本機を取り付ける …… 31
2. 電源を接続する …… 33
別売品の取り付け …… 34
1. マルチバッテリー
（OP-MB4000）の接続方法 …… 34
2. 電圧監視機能付 電源ユニット
（OP-VMU01）の接続方法 …… 37
電源ON ～ OFFまでの手順 …… 41
1. 電源ON（録画を開始する） …… 41
2. 録画を停止する …… 42
3. SDカードをフォーマットする …… 42
4. 録画を再開する …… 43
5. ワンタッチ記録をする …… 43
6. 音声録音をすぐにON/OFFする …… 44
7. 画面表示をすぐにON/OFFする …… 44
8. 電源OFF（録画を停止する） …… 44

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法 …… 45
1. 設定メニューを表示する …… 45
2. 録画を再開する …… 45
設定メニュー …… 46
1. 録画設定 …… 46
2. 再生設定 …… 47
3. SDカード …… 50
4. 共通設定 …… 51

再生する

録画ファイルの読み出しについて … 53
1. SDカードを直接パソコンと接続する …… 54
専用ビューアソフトで再生する …… 55
1. 準備する …… 55
2. 専用ビューアソフトを起動する …… 55
3. 録画ファイルを再生する …… 55
4. 専用ビューアソフトを終了する …… 56
専用ビューアソフト …… 57
1. 専用ビューアソフトの画面について …… 57
2. 専用ビューアソフトをアンインストールする …… 59
動画再生モードの表示・再生方法 … 60
1. 動画再生モードを表示する …… 60
2. 本機で録画ファイルを再生する …… 60
3. 録画を再開する …… 61
動画再生モード …… 62

その他

こんなときは …… 63
故障かな？と思ったら …… 64
仕 様 …… 67
microSDカード対応一覧表 …… 69
1. 録画時間の目安 …… 69
索 引 …… 70
アフターサービス …… 裏表紙
1. お客様ご相談センター …… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。
⚠ 警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- 必ず実行していただく「強制」内容です。
- してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ☛ 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警 告

異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。
＜異常な状態の例＞
・内部に異物が入った
・水に浸かった
・煙が出ている
・変な臭いがする
すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
＊　裏表紙「アフターサービス」

心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。
感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

本機を次のような場所に保管しないでください。
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
・湿気やほこり、油煙の多い所
・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。
破裂、発火や火傷の原因となります。

穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。
感電や故障の原因となります。

病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。
電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

⚠ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注 意

結露したまま使い続けないでください。
故障や発熱などの原因となります。（気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。）

落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。

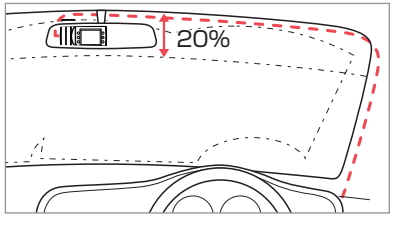
本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。
故障の原因となります。

⚠ 本機は精密機械です。
静電気／電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて

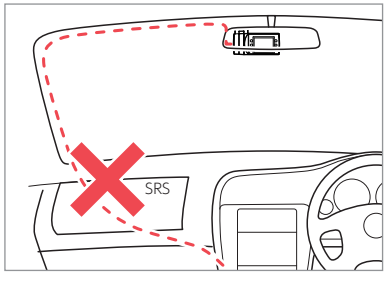
⚠ 警 告

取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
※フロントガラスの下の縁から15㎝以内の取り付けが可能になりましたが、上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。



取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注 意

取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

接続部は確実に奥まで差し込んでください。
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

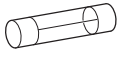
●電源コードについて

⚠ 警 告

電源コードは確実に差し込んでください。
接触不良を起こして火災の原因となります。

お手入れの際は、電源コードを抜いてください。
感電の原因となります。

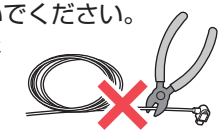
指定以外のヒューズは使用しないでください。
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



交換ヒューズ
2A(20㎜×5.2㎜)

指定された電源電圧車以外では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

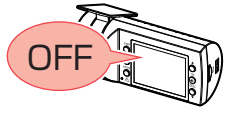
コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。
故障や感電の原因となります。



●SDカードについて

⚠ 警 告

SDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。



SDカードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。
無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警 告

走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。
このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

運転者は走行中に操作しないでください。
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

急発進したり急ブレーキをかけないでください。
安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

注 意

カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。
乾いた布などでふくとキズの原因となります。

本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。

使用上のご注意

●本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
●本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 電源直結コードに関する注意

- 電源直結コードは、必ず付属品をご使用ください。
- 電源直結コード内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 液晶パネルに関する注意

- 表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- 表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- 太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

■ GPS測位に関する注意

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
- 走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 取り付けに関する注意

- 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- 本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- 本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 撮影された映像について

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ SDカードに関する注意

- SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- SDカードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。
- SDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 保証に関する注意

- 本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 録画についての注意

- 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- 運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- 事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSD カードを保管してください。
- 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
  ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
  ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
  ※長期間使用しなかった場合。
  ※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ 真夏などの炎天下での注意

- サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

SDカードの保管

保管場所について…

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。

〈静電気・ノイズ〉　〈水・湿気〉　〈衝撃・曲げ・折り〉　〈腐食性ガス〉

こんなときに録画ファイルが役立ちます

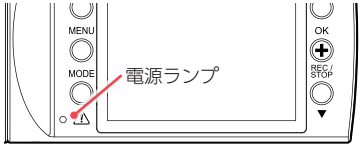
例　赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。

・信号の色などが記録されていれば事故の参考資料になり、早期解決につながります。

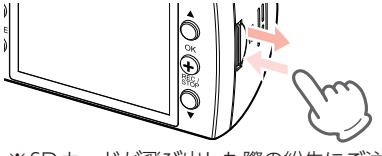
■ 付属品の電源直結コード接続時

付属の電源直結コードを接続した状態で事故が起きた場合のSDカード保管方法。

1 車両のエンジンをOFFする



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認します。



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

3 SDカードを保管する

■ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニット接続時

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続した状態で走行時または駐車時に事故が起きた場合のSDカード保管方法。

走行時に事故が起きた場合　　駐車時に事故が起きた場合

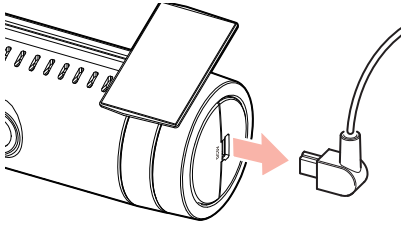
1 車両のエンジンをOFFする

駐車記録を行います。

※別売品の設定によっては電源OFFします。

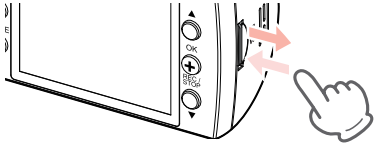
「2.本体のDCジャックから電源コードを取り外す」へお進みください。

2 本体のDCジャックから電源コードを取り外す



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認します。

3 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

4 SDカードを保管する

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

必ず1~2週間に一度、本機でSDカードをフォーマット(初期化)してください。
定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

※フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。(＊ P.53「録画ファイルの読み出しについて」)
※エラーメッセージ(＊ P.63)が表示されている場合は、OK(+)ボタンを押してからフォーマットを行ってください。

SDカードフォーマットの手順

1 車両のエンジンをONする

電源ランプ(赤)が点灯、記録マークが「●REC」(赤)と表示します。

2 OK(+)ボタンを押す

録画を停止します。
電源ランプ(赤)が点滅、記録マークが「STBY」(緑)と表示します。

3 MENUボタンを押す

録画設定画面を表示します。

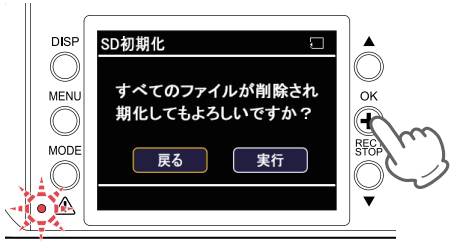
4 MODEボタンを押す

再生設定画面を表示します。

5 MODEボタンを押す

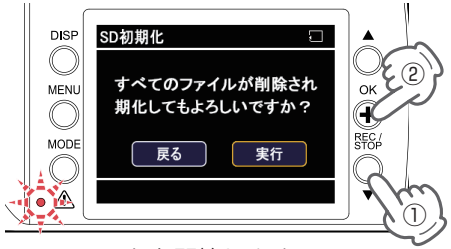
SDカード画面を表示します。

6 OK(+)ボタンを押す



SD初期化画面を表示します。
「すべてのファイルが削除されます　初期化してもよろしいですか？」と表示します。

7 [実行]を選択し、OK(+)ボタンを押す



フォーマットを開始します。
「SDカード初期化中です」、「SDカードを初期化しました」と表示し、SDカード画面へ戻ります。

8 MENUボタンを押す

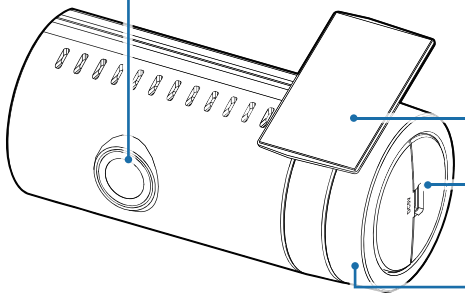
9 OK(+)ボタンを押す

録画を再開します。

各部の名称と働き

■ 本体

正 面



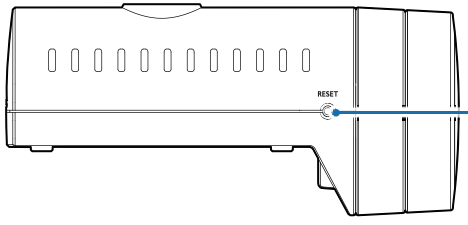
レンズ
ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。
ご使用時にはがしてください。

ブラケット

DCジャック(DC5V)
付属の電源直結コードを接続します。
(＊ P.33)

ナット

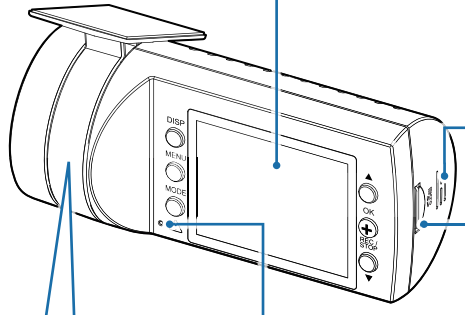
下 面



マイク(本体内蔵)
周辺の音を収集します。

リセットボタン
本体をリセットし、システムを再起動します。
(＊ P.66)

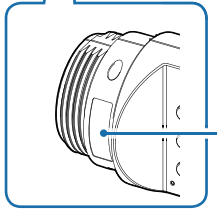
背 面



フルカラー TFT液晶ディスプレイ 2.0インチ
各設画面を表示したり、記録中の映像や記録後の映像を確認できます。

スピーカー
録画ファイルの音声が出ます。

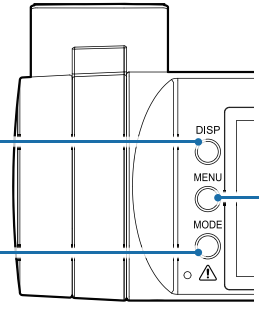
microSDカード挿入口
付属のmicroSDカードを挿入します。
(＊ P.17)



電源ランプ(赤)
本体の動作状態をランプでお知らせします。
(＊ P.41)

シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

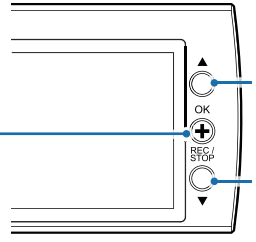
操作ボタン



DISPボタン
画面表示のON/OFFができます。
(＊ P.44)

MODEボタン(記録ボタン)
常時録画中に押すとワンタッチ記録をします。(＊ P.43)
録画停止中に押すと動画再生モードを表示します。(＊ P.60)

MENUボタン
録画中に押すと音声録音のON/OFFをします。(＊ P.44)
録画停止中に押すと録画設定を表示します。(＊ P.46)



OK(+)ボタン
録画中に押すと録画を停止します。
録画停中に押すと録画を開始します。
約3秒以上長押しすることで、動体検知機能をON/OFFできます。
(＊ P.25)
エラーメッセージ表示中に押すと、非表示にすることができます。

▲ボタン
項目や設定値を選択します。

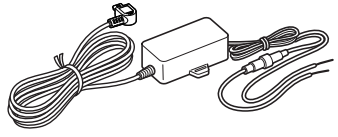
▼ボタン
項目や設定値を選択します。

1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ ブラケット ……1
■ ナット ……1
■ 両面テープ(＊ P.31) ……1
(ブラケットに使用します。)
■ microSDカード(8GB) ……1
(本体にあらかじめ装着されています。)
■ 保証書 ……1

■ 5Vコンバーター付電源直結コード(約4m)(＊ P.33) ……1



・本機には、お買い上げの日から1年間の製品保証がついています。ただし、microSDカード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。

microSDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
microSDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

■ マルチバッテリー　OP-MB4000
本体 23,000円＋税

エンジンをOFFにすると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。(最大約12時間)(＊　P.34)

本体…… 1
入力コード…… 1
出力コード…… 1
面ファスナー…… 1

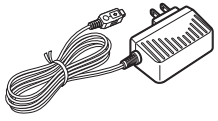
■ 電圧監視機能付 電源ユニット※1
OP-VMU01　本体 6,000円＋税

車両バッテリーに繋げて駐車記録を行う、オフタイマー設定・車両バッテリー電圧監視機能付きの電源ユニットです。(＊　P.37)

本体…… 1
入力コード…… 1
両面テープ…… 1

■ ACアダプター　OP-E368
本体 3,000円＋税

ご家庭で使用することができます。



※1：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

3. 付属品・別売品の購入について

・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「ＸＸ（機種名）用○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
https://spareparts.yupiteru.co.jp/

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。
※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※本機は、8GB以上、32GB以下のmicroSDHCカードに対応しています。(SDスピードクラス「Class10」以上)

⚠注 意

・電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。
・SDカードは一方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
・付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

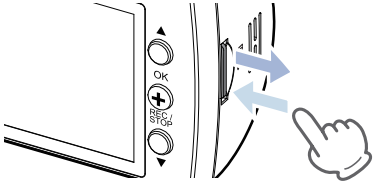
1. SDカードを本体から取り外す

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続している場合は、初めに本体から電源コードを取り外してください。詳しくは、＊　P.11を参照ください。

1-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



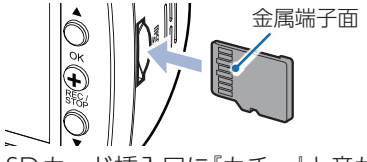
※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車室内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

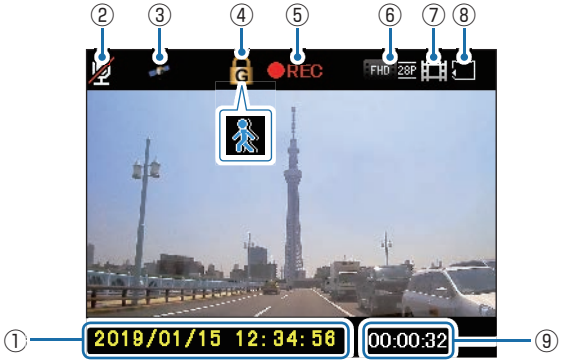
2-2 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。
※SDカードの向きに注意して挿入してください。

動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。



(GPS非測位時)

(SDカード挿入時)

(SDカード未挿入時)

(SDカード異常時)

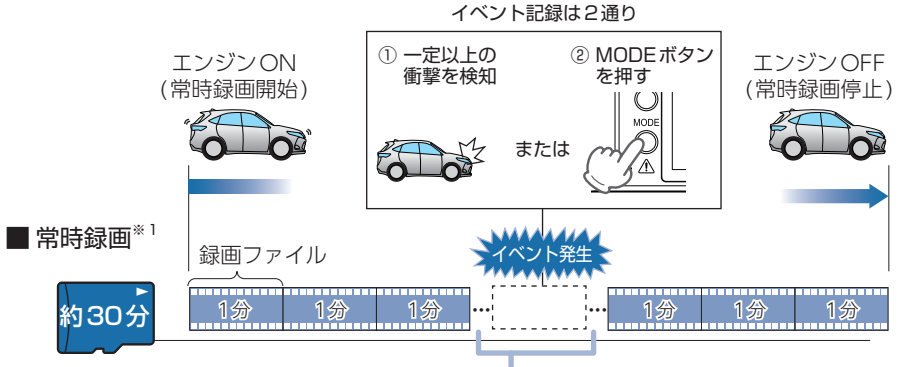
No.	表示名	説　明
①	日付・時刻	現在の日付と時刻を表示します。
②	音声録音OFFアイコン	録画設定の[音声録音]が[OFF]の時に表示されます。(＊ P.46)
③	GPSアイコン	GPSの状態をアイコンで表示します。
④	ファイルアイコン	ワンタッチ記録(M)、Gセンサー記録(G)時に表示します。
	動体検知アイコン	動体検知機能がONのときに表示します。(＊ P.25)
⑤	記録マーク	録画中に●(赤)と「REC」を表示します。停止中は「STBY」と緑色で表示します。 ※動体検知中は記録マークの●(赤)が◆(黄色)になります。
⑥	解像度と録画コマ数	録画する解像度と録画コマ数を表示します。 ※録画コマ数が「27.5fps」の場合、画面には28Pと表示します。
⑦	モードアイコン	動画記録モードアイコンを表示します。
⑧	microSDアイコン	SDカードの状態をアイコンで表示します。
⑨	記録時間	録画中に現在の映像の記録時間を表示します。

■ 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機　能
DISPボタン	押すたびに画面表示をON/OFFします。
MENUボタン	録画停止中に押すと、録画設定を表示します。(＊ P.46) もう一度押すと前の画面へ戻ります。 ※録画中は、音声録音ON/OFF機能となります。
MODEボタン	常時録画中に押すと、ワンタッチ記録します。(＊ P.21) 録画停止中に押すと、動画再生モードのフォルダ選択画面を表示します。(＊ P.60)
▲ボタン	使用しません。
OK(+)ボタン	録画中に押すと、録画を停止します。録画停止中に押すと、録画を開始します。 3秒以上長押しで動体検知機能をON/OFFします。(＊ P.26)
▼ボタン	使用しません。

録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



※1：動体検知機能がONの場合、動作が異なります。(＊ P.25)
※2：延長録画により、約1分30秒のファイルになる場合があります。(＊ P.23)

- お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、保護していない各記録方法の古いファイルを上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(＊ P.22「上書きモードについて」)
- 本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。
- SDカードが未挿入や異常時(＊ P.18)、またはメッセージが表示された場合は、映像を記録することはできません。(＊ P.63「こんなときは」)

1. 常時録画

エンジン始動（ACC ON）からエンジン停止（ACC OFF）までの映像をSDカードに常時録画します。常時録画開始時に『ピー』と音が鳴り、常時録画中は電源ランプが点灯します。

※音量の設定を「0」、または操作音を「OFF」に設定している場合、音は鳴りません。

・録画ファイル構成
1ファイルあたり約1分で生成します。

・録画可能時間
初期値（1080p HD）で、付属のSDカード（8GB）に約30分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。（＊ P.21「ファイル容量の目安について」、＊ P.69「録画時間の目安」）

・上書きモード
初期値では［上書きモード］が［全て上書き］のため、30分以降も上書きして録画します。
上書き動作は設定によって異なります。（＊ P.22「上書きモードについて」）

2. イベント記録（Gセンサー記録とワンタッチ記録）

イベント記録には、Gセンサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録開始時に『ピー』と音が鳴り、イベント記録中は画面上部にファイルアイコンを表示します。

※音量の設定を「0」、または操作音を「OFF」に設定している場合、音は鳴りません。

・録画ファイル構成
1ファイルあたり約1分で生成します。
※延長録画により、約1分30秒のファイルになる場合があります。（＊ P.23）

・録画可能時間
初期値（1080p HD）で付属のSDカード（8GB）に、Gセンサー記録は約12分、ワンタッチ記録は約9分（合計約21分）の録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。（＊ P.21「ファイル容量の目安について」、＊ P.69「録画時間の目安」）

・上書きモード
初期値では［上書きモード］が［全て上書き］のため、イベント記録の録画可能時間（合計約21分）以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。
（＊ P.22「上書きモードについて」）

■ Gセンサー記録

Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、1ファイル単位の映像をSDカードの「EVGS」フォルダに移動します。

※初期値では［Gセンサー記録：ON］となります。設定で［OFF］にすることもできます。
（＊ P.46「録画設定」）

・Gセンサー感度
Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、X（前後方向）、Y（左右方向）、Z（上下方向）の数値は全て［1.0G］となります。（＊ P.46「録画設定」）

事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。
その際は、常時録画の映像をご確認ください。

■ ワンタッチ記録（手動録画）

常時録画中にMODEボタンを押すと、1ファイル単位の映像をSDカードの「EVSW」フォルダに移動します。

⚠ 注 意
ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く行ってください。

3. ファイル容量の目安について

本機は、記録方法によってSDカードのファイル容量の上限がそれぞれ決められています。

※上限を超える場合の動作は、「上書きモードについて」を参照ください。

SDカードの全容量

常時録画 50%	駐車記録（動体検知） 15%	Gセンサー記録 20%	ワンタッチ記録 15%

4. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(＊ P.46「録画設定」)

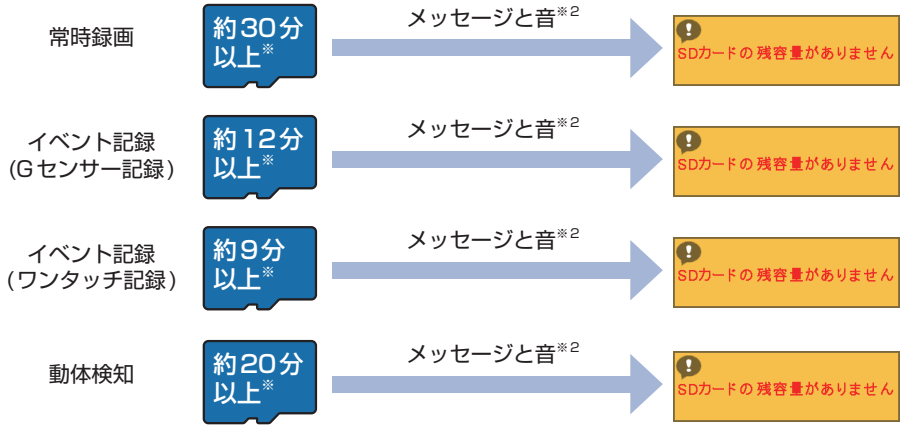
上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録/動体検知
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き※1	保護していない常時録画ファイルのみを上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
全て上書き※1（初期値）	保護していない録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

■ 上書き禁止

常時録画、イベント記録、動体検知がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での記録を停止します。

例①：イベント記録がSDカード容量の上限に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画がSDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらにイベント記録もSDカード容量にかかわりなく記録を停止します。
※イベント記録は、常時録画を移動した録画ファイルです。

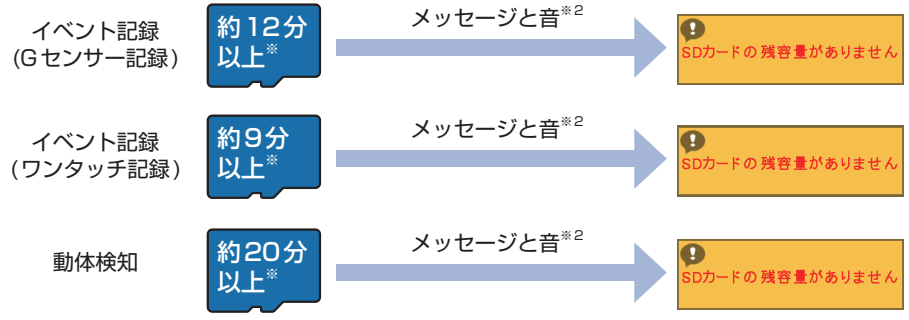


※時間はSDカードの容量により異なります。

※1：保護したファイル(＊ P.49)は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除(＊ P.47)してから削除するか、SDカードをフォーマットしてください。(＊ P.12)
※2：音量の設定を「0」、または操作音を「OFF」に設定している場合、音は鳴りません。

■ 常時録画上書※1

SDカード容量の上限に達すると、保護していない古い常時録画を上書きし、録画を続けます。
イベント記録/動体検知は、SDカード容量の上限に達した時点で、その記録方法での記録を停止します。



※時間はSDカードの容量により異なります。

■ 全て上書き（初期値）※1

常時録画、イベント記録、動体検知がそれぞれ上限に達すると、各記録方法の古いファイルを上書きし、記録を続けます。

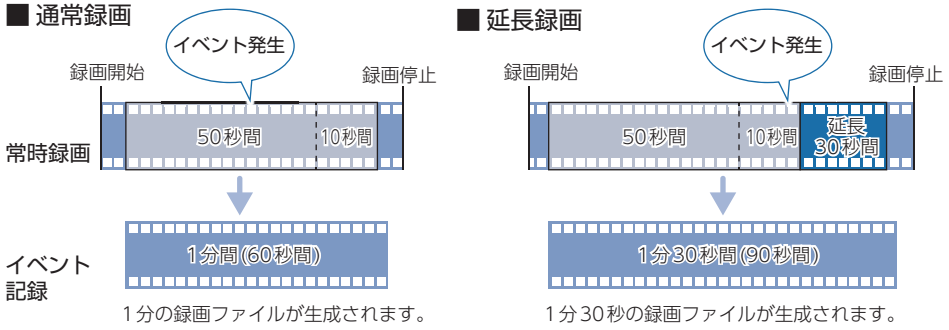
※1：保護したファイル(＊ P.49)は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除(＊ P.47)してから削除するか、SDカードをフォーマットしてください。(＊ P.12)
※2：音量の設定を「0」、または操作音を「OFF」に設定している場合、音は鳴りません。

メッセージ表示を止める場合は、OK(+)ボタンを押してください。

5. 延長録画について

常時録画中の1ファイル(60秒間)の残り10秒間にイベントが発生した場合(MODEボタンを押すかGセンサーが一定以上の衝撃を検知した場合)、ファイルを30秒延長して約1分30秒のファイルをイベント録画フォルダに保管します。

※1ファイルの開始50秒間にイベントが発生した場合は、延長録画を行いません。



メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 1 ～ 2週間に一度のメンテナンス

⚠ 注 意

必ず1~2週間に一度、SDカードのフォーマットを行ってください。(＊ P.12)

■ 必要に応じてメンテナンス

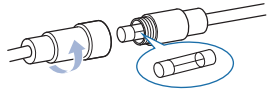
・付属の電源直結コードのヒューズ交換

※交換用ヒューズ2A(20mm × 5.2mm)

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、電源直結コードのヒューズ (2A) が切れている可能性があります。

① 電源コードが外れていないかを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、電源直結コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



交換ヒューズ2A
(20mm × 5.2mm)

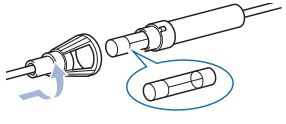
・別売品のヒューズ交換

※マルチバッテリー (OP-MB4000)：交換用ヒューズ6A(30mm × 6.0mm)
※電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01):交換用ヒューズ3A(30mm × 6.4mm)

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、のヒューズが切れている可能性があります。

① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



OP-MB4000：交換ヒューズ6A(30mm × 6.0mm)
OP-VMU01：交換ヒューズ3A(30mm × 6.4mm)

動体検知機能 (Motion Detect) について

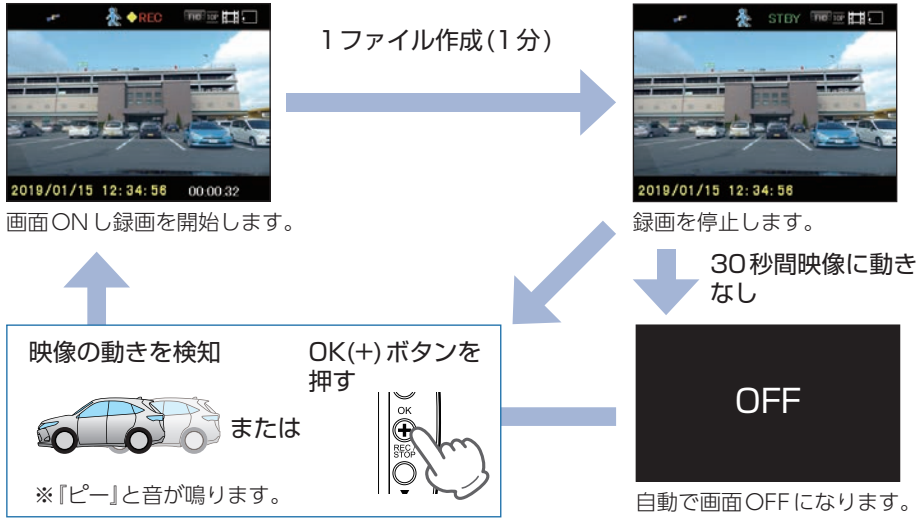
動体検知機能は、映像の変化から動体を検知し動きがあった場合に録画を開始して「EVMT」フォルダに記録します。作動中は、設定メニューの表示やモード変更を行うことはできません。また、イベント記録は行いませんのであらかじめご了承ください。

※初期値は、「OFF」です。
※動体検知機能は電源OFFすると初期値(「OFF」)に戻ります。
動体検知機能をONする場合は、電源ONするたびに ＊ P.26「動体検知機能をONする」を行ってください。
※動体検知機能を使用する場合は、上書きモードを「上書き禁止」以外に設定することをお勧めします。(＊ P.46)
※動体検知機能作動中は、解像度の変更はありませんが、録画コマ数が「10fps」に固定されます。

不要な記録を防ぐことができ映像の確認がしやすく、またSDカードの消耗軽減にも有効なため別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000) や電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)を接続して駐車記録を行う場合に使用することをお勧めします。(＊ P.16)

■ 動体検知機能の動作

1ファイル作成後(1分後)に録画を停止し、更に30秒間映像に動きがなかった場合は、自動で画面表示をOFFします。



■ 検知の目安

本機のカメラ撮影範囲内に、約2m~3m 離れた位置で大人が全身撮影できた場合に検知します。

映像の変化から動体を検知するため、検出範囲内であっても周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。

1. 動体検知機能をONする

1-1 車両のエンジンをONする

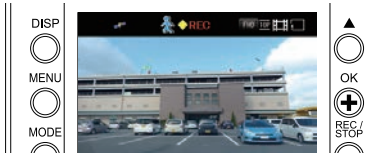
電源ランプが点灯、記録マークが「●REC」(赤)と表示され、録画を開始します。

1-2 OK(+)ボタンを3秒以上長押しする

画面表示を一度OFFし、動体検知機能をONします。
作動中は アイコンを表示します。録画中は記録マークの●(赤)が◆(黄色)になります。

※動作の詳細は、＊ P.25を参照ください。
※動体検知機能作動中は、解像度の変更はありませんが、録画コマ数が「10fps」に固定されます。

1-3 車両のエンジンをOFFする



・駐車記録を行う場合は…
車両のエンジンをOFFする前に アイコンが表示されていることを確認してください。

録画は継続し、駐車記録を開始します。

2. 動体検知機能をOFFする

2-1 車両のエンジンをONする

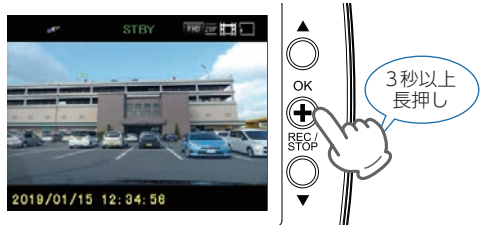
2-2 アイコンを確認する

＜動体検知機能 ON＞

＜動体検知機能 OFF＞

動体検知機能のON/OFFを確認するため アイコンを確認してください。
アイコンが表示されている場合は手順「2-3」へ進んでください。
アイコンが表示されていない場合は動体検知機能はOFFになっています。
そのままご使用ください。

2-3 OK(+)ボタンを3秒以上長押しする



アイコンが消灯し、動体検知機能をOFFして録画を停止します。常時録画を行う場合は、OK(+)ボタンを押してください。

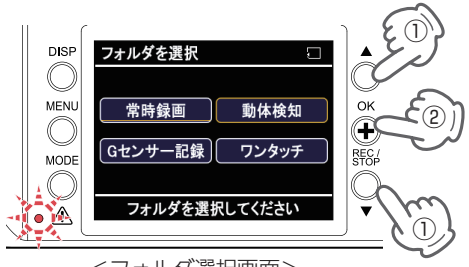
※画面OFF中にOK(+)ボタンを3秒以上長押ししても動体検知機能はOFFしません。各ボタンを押して画面を表示してから行ってください。

駐車時以外は動体検知機能を「OFF」でご使用ください。「ON」の場合、イベント記録が行われないため、事故などが起きた場合に映像が記録されない可能性があります。

3. 録画ファイルを確認する

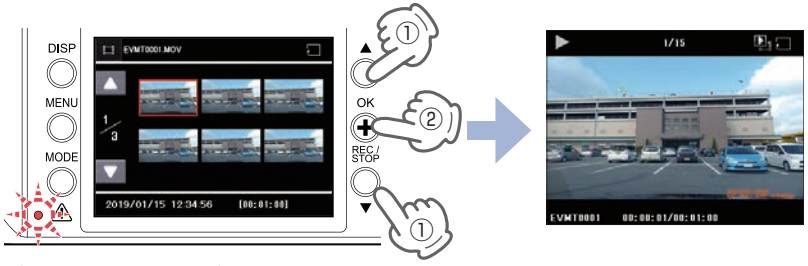
3-1 動画再生モードを表示する(＊ P.60)

3-2 [動体検知]を選択し、OK(+)ボタンを押す



＜フォルダ選択画面＞

3-3 録画ファイルを選択し、OK(+)ボタンを押す



録画ファイルを再生します。

再生時のボタン機能は＊ P.62を参照ください。

初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説　明
解像度 (録画設定)	1080p HD	1920×1080の解像度で録画します。
録画コマ数 (録画設定)	27.5fps	1秒あたり27.5コマで録画します。
音声録音 (録画設定)	ON	動画と同時に音声を録音します。
上書きモード (録画設定)	全て上書き	SDカード容量の上限に達すると、保護していない古いファイルを上書きします。 (＊ P.22「上書きモードについて」)
Gセンサ設定 (録画設定)	ON	Gセンサー記録を行います。(＊ P.20「Gセンサー記録」)
Gセンサー感度(X) (録画設定)	1.0G	X(前後方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
Gセンサー感度(Y) (録画設定)	1.0G	Y(左右方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
Gセンサー感度(Z) (録画設定)	1.0G	Z(上下方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
音量 (再生設定)	5	本機の音量を「5」に設定しています。 ※音量は操作音、起動/終了音、常時録画/イベント記録開始時の音、メッセージの音、録画ファイル再生音に反映されます。
操作音 (共通設定)	ON	操作音、起動/終了音、常時録画/イベント記録開始時の音、メッセージの音を鳴らします。
フリッカレス (共通設定)	60Hz	商用周波数を60Hz(西日本)に設定しています。
画面自動オフ (共通設定)	無効	自動で画面を消灯しません。

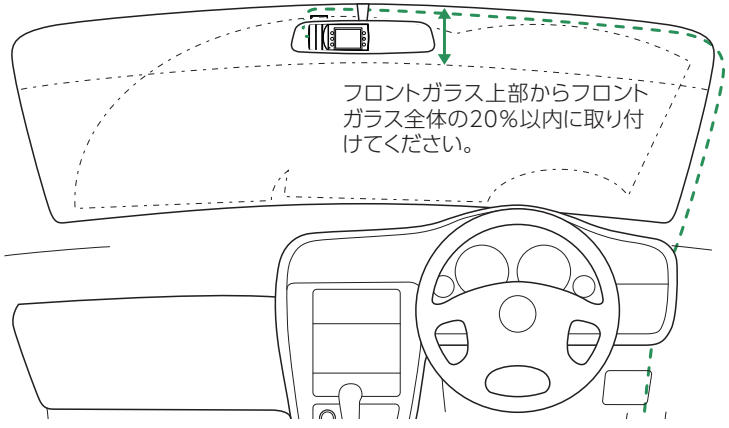
※初期値を変更する場合は、＊ P.45～52「カスタマイズして使う」を参照ください。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

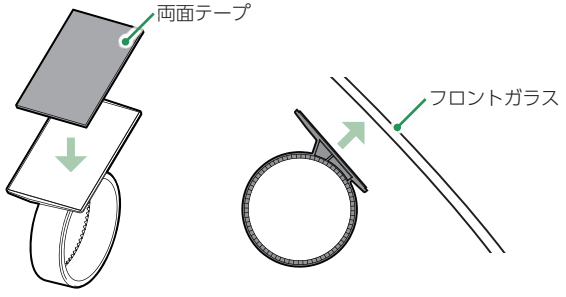
・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
・視界の妨げにならないように取り付けてください。
・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
・本機の周囲に物を配置しないでください。映像が映り込む可能性があります。
・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



1. 本機を取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける



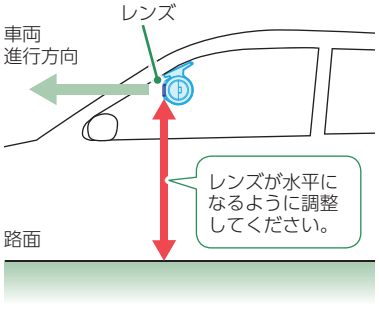
ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

※固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。
※貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

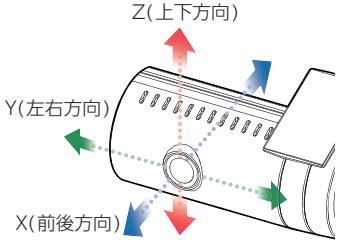
・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
・貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

1-2 ブラケットに本体を装着し、レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



・Gセンサー記録とは…
＊ P.20「Gセンサー記録」

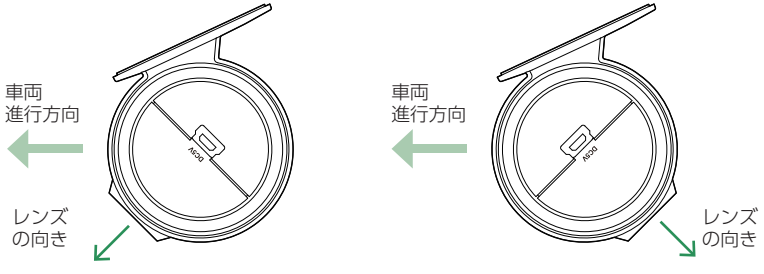
・Gセンサーの数値について



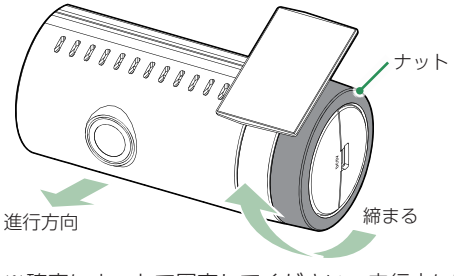
・GセンサーのX（前後方向）、Y（左右方向）、Z（上下方向）の数値は、レンズの向きが車両進行方向と水平の状態で固定されています。

※カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

レンズの向きが車両方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。



1-3 ナットを締めて固定する



※確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

2. 電源を接続する

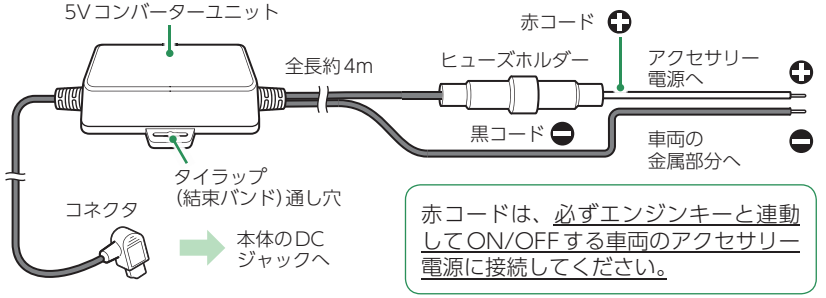
付属の電源直結コードを接続します。

※別売品で接続する場合は、「別売品の取り付け（＊ P.34）」を参照ください。

⚠ 注 意

・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

2-1 電源直結コードを接続する



赤コードは、必ずエンジンキーと連動してON/OFFする車両のアクセサリー電源に接続してください。

付属の電源直結コードを本体のDCジャックと車両へ接続します。

※付属の電源直結コード、または別売品のACアダプター（＊ P.16）をご使用ください。
※電源はDC12V（マイナスアース）車専用です。24V車ではご使用いただけません。
※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-2 市販品のタイラップ（結束バンド）や両面テープなどを使い、5Vコンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。
・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被服の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。

取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

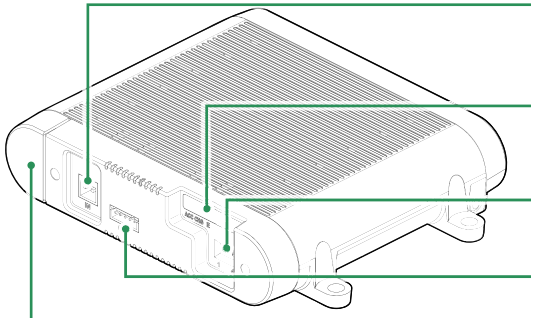
別売品の取り付け

⚠ 注 意

・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

■ OP-MB4000



入力端子(DC12V)
OP-MB4000付属の入力コードを接続します。

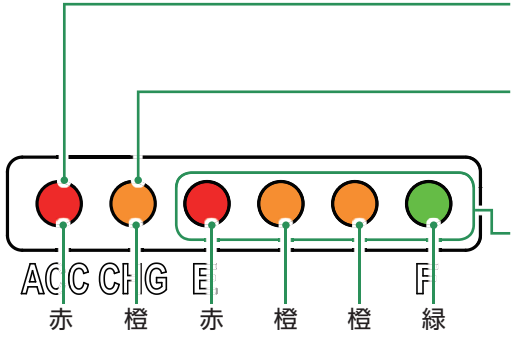
表示LED
給電・充電・電池残量をLEDで表示します。

ディップスイッチ
オフタイマー設定に使用します。

出力端子(DC12V)
OP-MB4000付属の出力コードを接続します。

電源コネクタ

■ 表示LEDについて



OP-MB4000に電源が供給されている時に点灯します。

充電中に点灯、動作温度範囲外で充電を停止し点滅します。
※高速点滅した場合は電池異常のためすぐに使用を中止してください。

電池残量をLEDの点灯数で表示します。
※エンジンOFF後、5秒間点灯します。
※約3時間で満充電になります。

⚠ 注 意

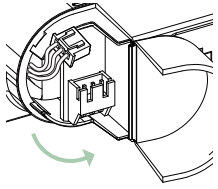
OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクタを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
※電源コネクタを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。

■ OP-MB4000接続時に必要なもの

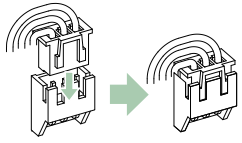
①OP-MB4000　②OP-MB4000付属入力コード
③OP-MB4000付属出力コード　④5Vコンバーター付電源直結コード
⑤市販品接続端子

1-1 電源コネクタを接続する

①カバーを開ける

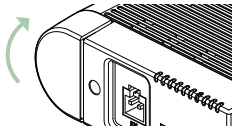


②電源コネクタを接続する



※奥まで確実に差し込んでください。

③カバーを閉じる



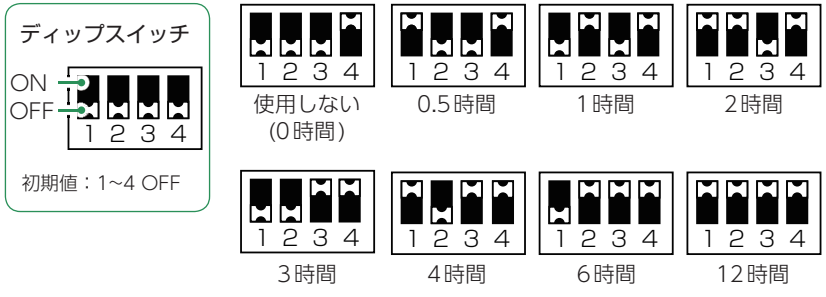
※「カチッ」と音が鳴るまで閉めてください。

1-2 オフタイマー設定をする

エンジンOFF後、OP-MB4000内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定(オフタイマー設定)します。
お買い上げ時(工場出荷時)のままでは、使用できません。エンジンOFF時にディップスイッチの操作を行ってください。エンジンONした際に設定が反映されます。

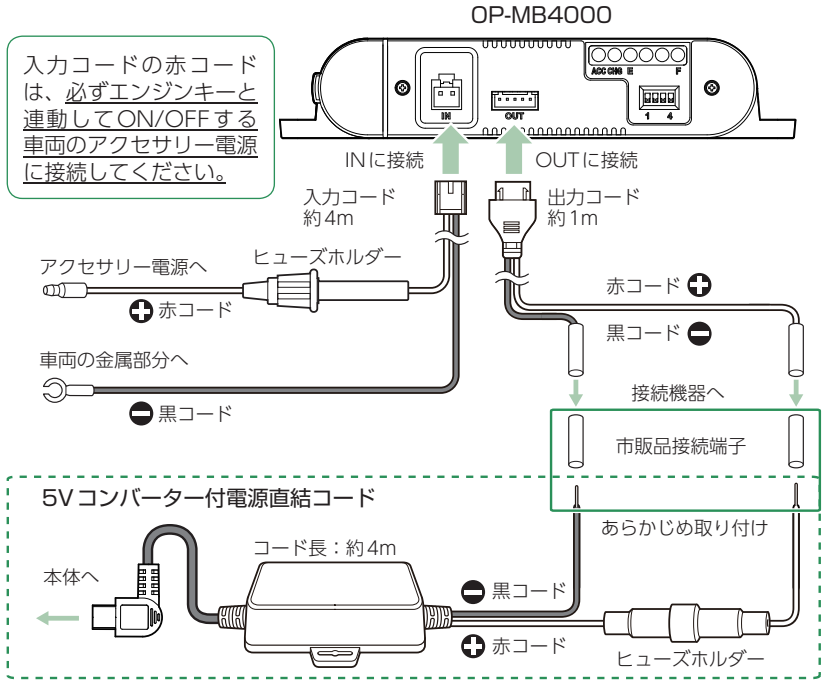
※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
※オフタイマー設定に関係なく、OP-MB4000内蔵電池が少なくなった場合にはOP-MB4000内蔵電池からの電源供給を自動的に停止し駐車記録は行いません。

■ オフタイマー設定

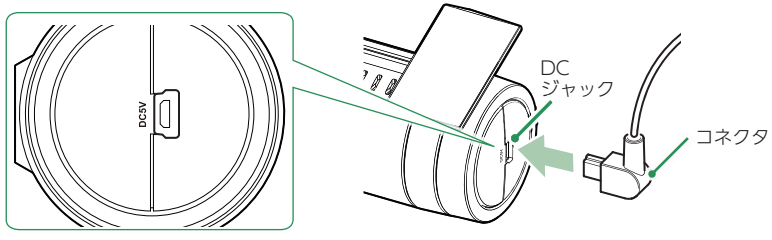


オフタイマー設定について
オフタイマー設定を「使用しない(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。OP-MB4000の内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

1-3 OP-MB4000を車両に接続する



1-4 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードを本体のDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-5 OP-MB4000付属の面ファスナーや市販品のタイラップなどで固定し、配線処理を行う

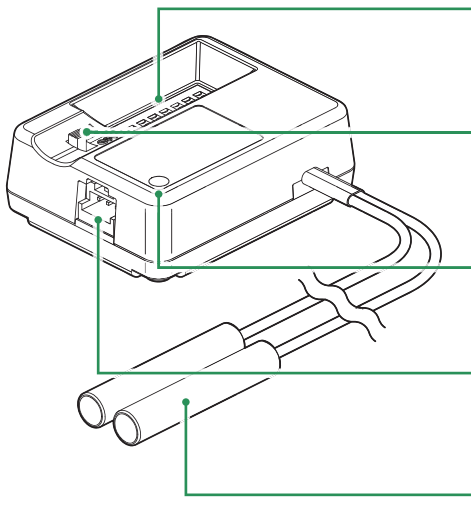
■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- 車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. 電圧監視機能付 電源ユニット（OP-VMU01）の接続方法

■ OP-VMU01



ディップスイッチ
検出電圧設定とオフタイマー設定に使用します。

電源スイッチ
OP-VMU01の電源ON/OFFに使用します。
※2日以上使用されない場合は、電源スイッチをOFFしてください。

表示LED（赤）
車両のエンジンON時、またはOP-VMU01の動作時にLED（赤）が点灯します。

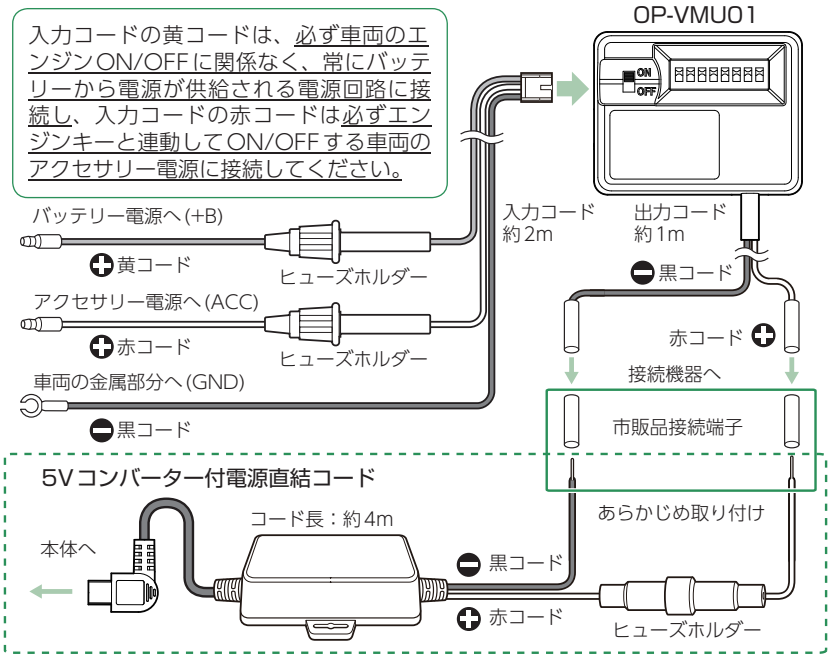
入力端子
OP-VMU01付属の入力コードを接続します。

出力コード
接続機器と接続します。

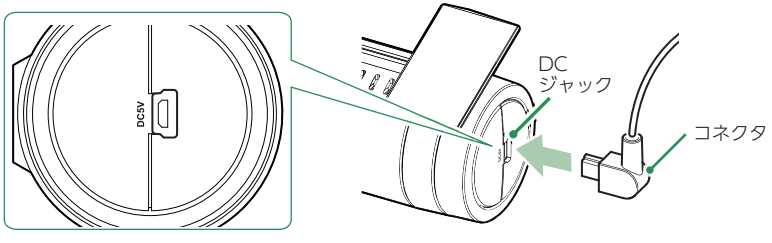
■ OP-VMU01接続時に必要なもの

①OP-VMU01　②OP-VMU01付属入力コード
③5Vコンバーター付電源直結コード　④市販品接続端子

2-1 OP-VMU01を車両に接続する



2-2 電源直結コードを接続する



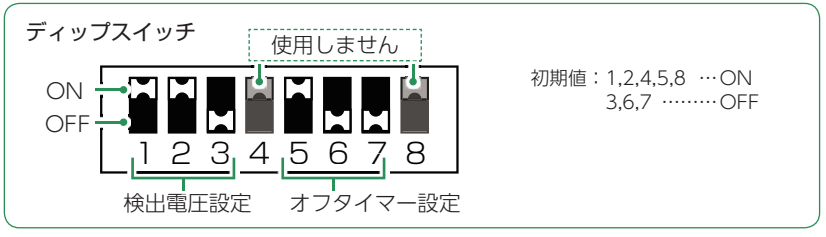
付属の電源直結コードを本体のDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

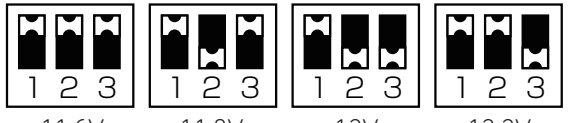
2-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

エンジンOFF後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、エンジンOFF後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

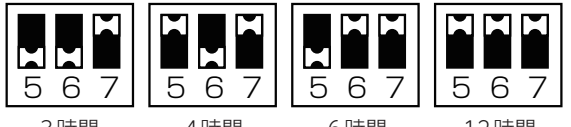
※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
※ディップスイッチの4、8は使用しません。初期値(ON)のまま変更しないでください。
※オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーから電源供給を停止します。



■ 検出電圧設定(1 ～ 3使用) 12V車



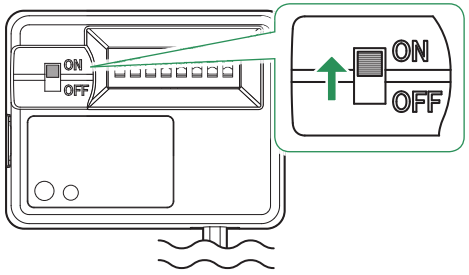
■ オフタイマー設定(5～7使用)



オフタイマー設定について

オフタイマー設定を「使用しない(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-4 電源スイッチをONにする



2-5 OP-VMU01付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。
- 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- 車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

電源ON ～ OFFまでの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合、下記の手順に沿って操作を行います。

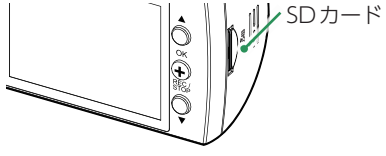
エンジンON
録画の開始 1 ▶ 録画の停止 2 ▶ フォーマット※ 3 ▶ 録画の再開 4 ▶ ワンタッチ記録 5 ▶ 音声録音 6 ▶ 画面表示 7 ▶ 録画の停止 8 エンジンOFF

※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源ON(録画を開始する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



・SDカードが挿入されていないときは…
電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。
＊ P.17「SDカードの取り外し/装着」

1-2 車両のエンジンをONする

・電源ランプについて

ランプの状態	本体の動作
赤色の点灯	録画中
赤色の点滅	録画以外の動作
消灯	電源OFF

電源ランプが点灯、記録マークが「●REC」(赤)と表示され、録画を開始します。
GPSを測位すると、 アイコンを表示し、GPS情報を取得します。
※GPS情報を取得すると、自動的に日時を調整します。
※GPSの測位に失敗すると、 アイコンを表示します。

・録画開始までの時間について
本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。電源ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

・GPS測位について
購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10分～ 20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させます。

2. 録画を停止する

2-1 OK(+)ボタンを押す

録画を停止します。
※録画停止中は、電源ランプが点滅、記録マークが「STBY」(緑)と表示されます。

3. SDカードをフォーマットする

必ず1～2週間に一度、フォーマットを行ってください。
フォーマット方法は、「SDカードをフォーマットする」(＊ P.12)を参照ください。
※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。
録画ファイルのバックアップ…＊ P.53「録画ファイルの読み出しについて」

4. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプが点灯、記録マークが「●REC」(赤)と表示されます。

■ 録画停止時の場合

4-1 OK(+)ボタンを押す

録画を開始します。
※設定メニューの場合は＊ P.45、動画再生モードの場合は＊ P.61を参照ください。

5. ワンタッチ記録をする

本機は、常時録画中にMODEボタンを押すと、ワンタッチ記録ファイルを生成します。

5-1 MODEボタンを押す

・ワンタッチ記録の詳細は…
＊ P.21「ワンタッチ記録（手動録画)」

ファイルアイコンが点灯し、ワンタッチ記録ファイルを生成します。
※ワンタッチ記録ファイル生成後は、自動で常時録画へ戻ります。

すぐに使う

6. 音声録音をすぐにON/OFFする

録画中にMENUボタンを押すと、音声録音のON/OFFを変更することができます。
※録画設定の「音声録音」でON/OFFを変更することもできます。(＊ P.46)

6-1 MENUボタンを押す

MENUボタンを押すたびに、音声録音のON/OFFが変更できます。

7. 画面表示をすぐにON/OFFする

電源ON中にDISPボタンを押すと、画面表示のON/OFFを変更することができます。
※動画再生モード、設定メニューでも画面表示をON/OFFできます。
※共通設定の「画面自動オフ」で自動的に画面表示をOFFすることもできます。(＊ P.51)

7-1 DISPボタンを押す

DISPボタンを押すたびに、画面表示のON/OFFが切り替わります。

8. 電源OFF(録画を停止する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

8-1 車両のエンジンをOFFする

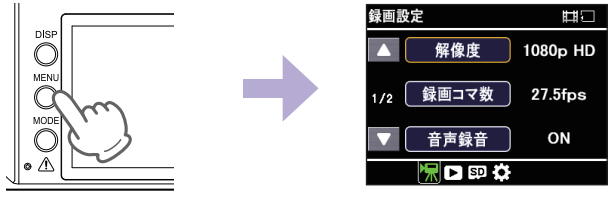
録画が停止し、電源OFFになります。

設定メニューの表示方法

1. 設定メニューを表示する

1-1 本体の電源ONを確認し、録画中の場合はOK(+)ボタンを押して録画を停止する

1-2 MENUボタンを押す



設定メニューを表示します。
※MODEボタンを押すたびに、「録画設定」→「再生設定」→「SDカード」→「共通設定」に変更できます。

2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。

2-1 MENUボタンを押す

動画記録モードを表示します。

2-2 OK(+)ボタンを押す

録画を開始します。

設定メニュー

■ 設定メニュー時のボタンの機能

ボタン	機　能
DISPボタン	押すたびに、画面表示をON/OFFします。
MENUボタン	設定画面を表示します。 もう一度押すと前の画面へ戻ります。
MODEボタン	押すたびに、[録画設定]→[再生設定]→[SDカード]→[共通設定]に切り替わります。
▲ボタン	項目や設定値を選択します。 現在選択されている項目が黄色い枠で囲われます。
OK(+)ボタン	項目や設定値を決定します。
▼ボタン	項目や設定値を選択します。 現在選択されている項目が黄色い枠で囲われます。

1. 録画設定

動画記録モードの設定を確認または変更します。

※設定メニューの表示方法は ＊ P.45を参照ください。

★は初期値です。

項　目	設　定	説　明
解像度	1080p HD(1920 x 1080)(★)	録画の解像度を選択します。
	720p(1280 x 720)	
	VGA(640 x 480)	
録画コマ数	27.5fps(★)	1秒間あたりのコマ数を選択します。 ※録画コマ数が「27.5fps」の場合、動画記録モードや動画再生モードでは28Pと表示します。
	20fps	
	10fps	
音声録音	ON(★)	音声録音のON/OFFを変更します。 ※録画中にMENUボタンを押すことでも変更することができます。(＊ P.44)
	OFF	

項　目	設　定	説　明
上書きモード (＊ P.22)	上書き禁止	それぞれの記録方法で上限に達しても、録画ファイルは上書きされません。
	常時録画上書※1	それぞれの記録方法で上限に達した場合、常時録画ファイルから自動削除して上書きされます。
	全て上書き※1(★)	それぞれの記録方法で上限に達した場合、それぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。
Gセンサー設定	ON(★)	Gセンサー記録を使用するかON/OFFで設定します。
	OFF	
Gセンサー感度	X：0.5 ～ 5.0G (1.0G★)	X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。 感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。
	Y：0.5 ～ 5.0G (1.0G★)	
	Z：0.5 ～ 5.0G (1.0G★)	

※1：保護したファイル(＊ P.49)は上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、保護を解除(＊ P.47)してから削除するか、SDカードをフォーマットしてください。(＊ P.12)

2. 再生設定

再生モードの設定を確認または変更します。

※設定メニューの表示方法は ＊ P.45を参照ください。

★は初期値です。

項　目	設　定	説　明
音量	0 ～ 10(5★)	本機の音量を「5」に設定しています。 ※音量は操作音、起動/終了音、常時録画/イベント記録開始時の音、メッセージの音、録画ファイル再生音に反映されます。 ※音量を個別に設定することはできません。
消去	—	録画ファイルを個別に削除します。 ※MENUボタンを押すと再生設定に戻ります。
ファイル保護	保護	録画ファイルを個別に保護または保護解除します。 ※MENUボタンを押すと再生設定に戻ります。
	保護解除	

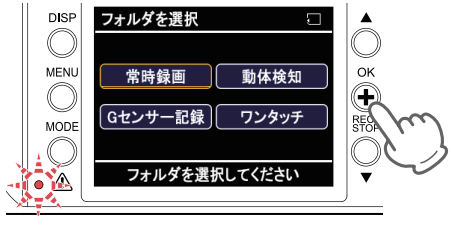
■ 常時録画の録画ファイルを個別に削除(消去)する場合

※保護したファイルは、削除できません。保護を解除するか、SDカードをフォーマットする(＊ P.12)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。

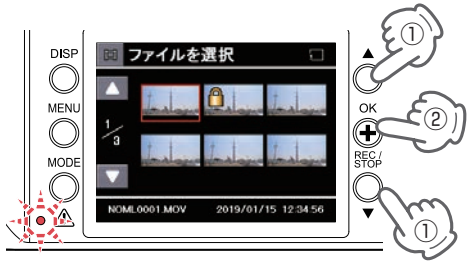
2-1 [消去]を選択し、OK(+)ボタンを押す

・再生設定の表示方法は…
＊ P.45「設定メニューを表示する」

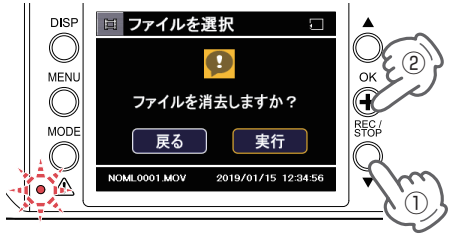
2-2 [常時録画]を選択し、OK(+)ボタンを押す



2-3 消去したい録画ファイルを選択し、OK(+)ボタンを押す



2-4 [実行]を選択し、OK(+)ボタンを押す



ファイルを削除し、ファイル選択画面に戻ります。

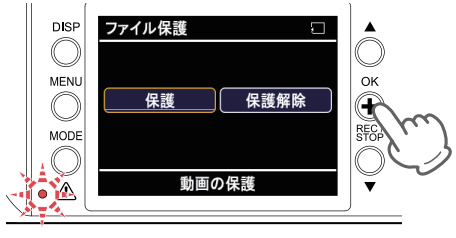
録画ファイルを一括で削除するには…
録画したファイルを一括で削除したい場合は、SDカードのフォーマットを行ってください。(＊ P.12)
※フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。

■ 常時録画の録画ファイルを個別に保護する場合

2-1 [ファイル保護]を選択し、OK(+)ボタンを押す

・再生設定の表示方法は…
＊ P.45「設定メニューを表示する」

2-2 [保護]を選択し、OK(+)ボタンを押す



2-3 [常時録画]を選択し、OK(+)ボタンを押す

2-4 保護したい録画ファイルを選択し、OK(+)ボタンを押す

2-5 [実行]を選択し、OK(+)ボタンを押す

※保護したファイルは、ファイル選択画面上で、🔒アイコンを表示します。

ファイルを保護し、ファイル選択画面に戻ります。

保護を解除する場合は、＊ P.49手順「2-2」で[保護解除]を選択してください。
保護を解除すると、ファイル選択画面上の🔒アイコンの表示が消えます。

3. SDカード

SDカードを初期化(フォーマット)します。
※設定メニューの表示方法は＊ P.45を参照ください。

項 目	設 定	説 明
SD初期化	戻る	SDカードを初期化(フォーマット)します。(＊ P.12)
	実行	※保護されたファイルも消去します。

4. 共通設定

本機の全モード共通の設定を確認または変更します。
※設定メニューの表示方法は＊ P.45を参照ください。

★は初期値です。

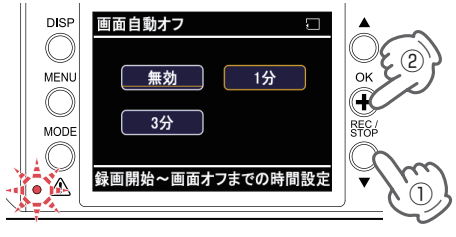
項 目	設 定	説 明
操作音	ON(★)	操作音、起動/終了音、常時録画/イベント記録開始時の音、メッセージの音を鳴らすかON/OFFで設定します。
	OFF	※ON/OFFを個別に設定することはできません。
日時	—	日付や時刻を設定します。 ※手動で設定した場合でも、GPSの日時情報が優先され、変更されます。 ※日時設定画面でMODEボタンを押すと、前の項目に戻ることができます。
フリッカレス	50Hz	使用している地域の商用周波数に合わせてください。 東日本：50Hz、西日本：60Hz 記録撮影時に蛍光灯などのちらつきを防止し記録します。
	60Hz(★)	
画面自動オフ	無効(★)	設定時間が経過すると、画面表示を自動的にOFFします。 画面を表示させる場合は、DISPボタンを押してください。 ※手動で画面をON/OFFすることもできます。(＊ P.44)
	1分	
	3分	
設定初期化	戻る	本機をご購入時の設定に戻します。
	実行	
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

■[画面自動オフ]を[1分]に設定する場合

4-1 [画面自動オフ]を選択し、OK(+)ボタンを押す

・共通設定の表示方法は…
＊ P.45「設定メニューを表示する」

4-2 [1分]を選択し、OK(+)ボタンを押す

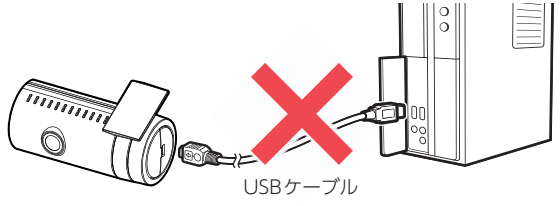


設定を保存し、共通設定画面へ戻ります。
※MENUボタンを押すと、設定を変更しないで前の画面へ戻ります。

録画ファイルの読み出しについて

本機で記録した映像や画像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生・表示することができます。

OS：Microsoft Windows 7、8、10
CPU: Core2Duo相当、2.0GHz以上
メモリ：2GB 以上
推奨の再生ソフト：Windows Media Player（Windows標準）※1
※1：Windows7は現在最新版のバージョン(12.0.XXX)でご使用ください。(2018年11月現在)



※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。
本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。
※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ファイル名について

ファイル種類、ファイル番号がファイル名になります。
※ファイル番号(0001 ～ 0500)範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。

例 NOML 0001 . MOV — 動画
- NOML 0001 — ファイル番号
- NOML — ファイル種類
  - NOML(常時録画ファイル)
  - EVGS(Gセンサー記録ファイル)
  - EVSW(ワンタッチ記録ファイル)
  - EVMT(動体検知ファイル)

■フォルダ構造について

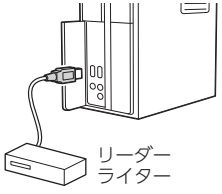
各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

- SDカード
  - NOML — NOML0001.MOV …
  - EVGS — EVGS0001.MOV …
  - EVSW — EVSW0001.MOV …
  - EVMT — EVMT0001.MOV …

※1つのフォルダに作成可能なファイルは、500ファイルです。500ファイルをこえると、新しいフォルダが作成されます。

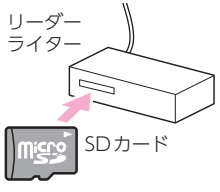
1. SDカードを直接パソコンと接続する

1-1 リーダーライターをパソコンに接続する

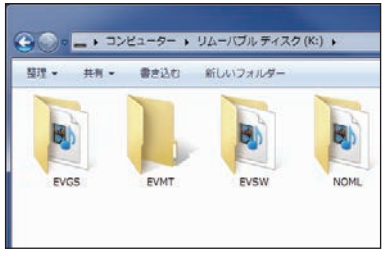


※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

1-2 SDカードをリーダーライターに接続する



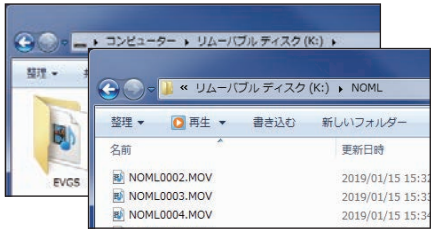
1-3 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



・フォルダ名について

常時録画 …… 「NOML」フォルダ
Gセンサー記録 … 「EVGS」フォルダ
ワンタッチ記録 … 「EVSW」フォルダ
動体検知 …… 「EVMT」フォルダ

1-4 録画ファイルをダブルクリックする



Windows標準のWindows Media Playerで再生することができます。

専用ビューアソフトで再生する

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフトをインストールすることにより、Google Maps と連動させて表示することができます。

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 準備する

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。https://www.yupiteru.co.jp/
※誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。
※Windows のアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

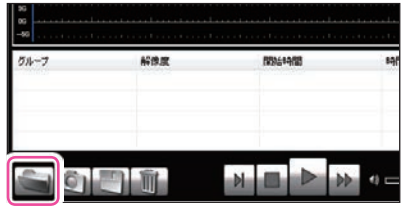
2-1 デスクトップにある[PC Viewer DRY-TypeJ]アイコンをクリックする

専用ビューアソフトが起動します。

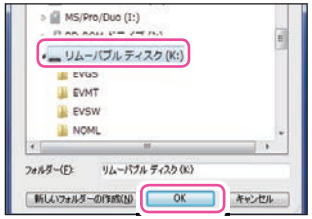
・専用ビューアソフトの詳細は…
＊ P.57「専用ビューアソフト」

3. 録画ファイルを再生する

3-1 をクリックする



3-2 接続したSDカードを選択し、[OK]をクリックする



・フォルダ名について

常時録画 …… 「NOML」フォルダ
Gセンサー記録 … 「EVGS」フォルダ
ワンタッチ記録 … 「EVSW」フォルダ
動体検知 …… 「EVMT」フォルダ

※SDカードを選択すると、すべてのデータが読み込まれ、録画開始から録画終了までのファイルを1つのグループとして専用ビューアソフトに表示されます。
※各フォルダを選択すると、各フォルダのデータのみが読み込まれます。

3-3 再生したい録画ファイルをダブルクリックする

・専用ビューアソフトの詳細は…
＊ P.57「専用ビューアソフト」

選択した録画ファイルが再生します。

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1 専用ビューアソフト右上の ✕ をクリックする

専用ビューアソフトが終了します。

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Gセンサーグラフ等を表示できます。

※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。https://www.yupiteru.co.jp/
※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について

No	表示名	表示の意味
①	映像ウィンドウ	映像を表示します。 ダブルクリックで映像の全画面表示／プレーヤ内表示を切り替えます。
②	Gセンサーグラフ	映像ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸でグラフ表示します。
③	グループ表示	選択グループのファイルをダブルクリックで再生開始します。 ① グループ：PCビューア内リストNo表示　G0･･･ ※録画開始から録画終了までを1つのグループとして表示します。 ② 解像度：1080p HD，720p，VGA ③ 開始時間：年月日 記録開始時間を表示 ④ 時間：録画時間(秒) ⑤ ファイルサイズ：(MB)

No	表示名	表示の意味	
④	ファイルの読み込み	「フォルダーの選択」ウィンドウが開き、読み込みたいフォルダを選択します。	
	画面の保存	再生中、一時停止中の映像から静止画（JPEGまたはPNGファイル）に変換して保存します。	
	ファイルのコピー	「グループ表示」グループ項目にて、チェックボックスにチェックを入れたグループの録画ファイルを一括コピーします。	
	ファイルの削除	「グループ表示」グループ項目にて、チェックボックスにチェックを入れたグループの録画ファイルを一括削除します。 ※ や のアイコンがついている録画ファイルは削除できません。削除する前に「アイコンの解除 」を押して、アイコンの解除をしてください。 ※いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。	
⑤	動画の操作	再生ボタン/一時停止	録画ファイルを再生/一時停止します。
		停止ボタン	再生中の録画ファイルを停止します。
		再生速度を遅くする	クリック毎に0.3 倍速～ 1.0 倍速まで0.1倍ステップで変更できます。
		再生速度を速くする	クリック毎に1.0倍速～ 2.0倍速まで0.2倍ステップ、2.0倍速～ 4.0倍速まで0.4倍ステップで調整できます。
		音量の調整	アイコンクリックで音声ミュートON/OFFを切り替えます。 バーの左右操作で再生音声の音量を調整します。
⑥	走行速度表示	GPSで記録した走行速度を表示します。	
⑦	ウィンドウサイズ切替	アイコンをクリックすることで、ウィンドウサイズを変更します。（大、中、小）	
⑧	プログラム	バージョン表示	ソフトウェアのバージョンを表示します。
		最小化	ウィンドウを最小化します。
		最大化	ウィンドウを最大化します。
		閉じる	ソフトウェアを終了します。
⑨	地図表示ウィンドウ	読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。 ※インターネットに接続されていないと、地図（Google Maps）は表示されません。	
⑩	ファイル詳細表示	録画ファイルの詳細情報を表示します。 ファイル選択時、背景を反転（青色）表示します。 選択ファイルをダブルクリックで再生します。 ① ID：PCビューア内リストNo ② ファイル名 ③ ファイル単位の録画記録開始時間：表示形式：時：分：秒 ④ ファイル単位の録画記録終了時間：表示形式：時：分：秒 ⑤ ファイルサイズ：（MB） ⑥ ファイルパス：ファイルのパスを表示	

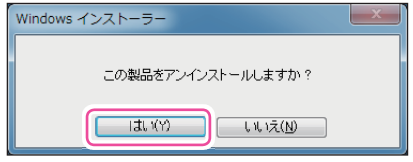
No	表示名	表示の意味
⑪	タイムライン	クリック位置から再生できます。
⑫	連続再生	再生リストに登録されたファイルを順に連続で再生します。
	ログデータの出力	再生している動画のKMLデータファイルをマイドキュメントのGPSLOGフォルダ内に保存します。
	地図表示の切り替え	地図表示のON/OFFを切り替えます。
	Gセンサグラフ表示の切り替え	Gセンサーグラフ表示のON/OFFを切り替えます。
	アイコンの解除	「グループ表示」グループ項目にて、チェックボックスにチェックを入れたグループのアイコン「」「」をグループ単位で解除します。

2. 専用ビューアソフトをアンインストールする

専用ビューアソフトが不要になった場合、以下の方法でパソコンから削除できます。

2-1 スタートメニューの[PC Viewer DRY-TypeJ]から、[PC Viewer DRY-TypeJ Uninstall]を選択する

2-2 [はい]をクリックする



アンインストールを開始します。

※アンインストールが完了すると、ポップアップ画面が自動的に閉じられます。

動画再生モードの表示・再生方法

1. 動画再生モードを表示する

1-1 本体の電源ONを確認し、録画中の場合はOK(+)ボタンを押して録画を停止する

※録画中、または動体検知機能がONでは、動画再生モードの表示ができません。

1-2 MODEボタンを押す

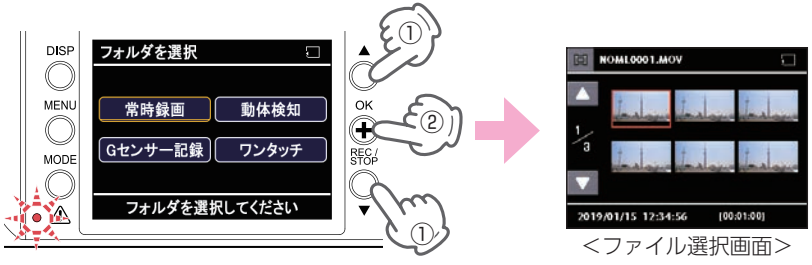
＜フォルダ選択画面＞

動画再生モードのフォルダ選択画面を表示します。

※MODEボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「動画再生モード」にモード変更します。

2. 本機で録画ファイルを再生する

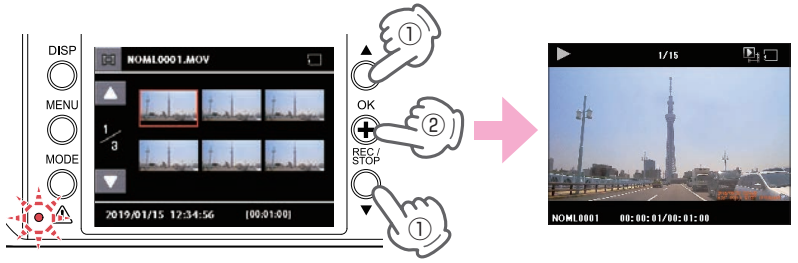
2-1 再生したいフォルダを選択し、OK(+)ボタンを押す



＜ファイル選択画面＞

ファイル選択画面を表示します。

2-2 再生したい録画ファイルを選択し、OK(+)ボタンを押す



録画ファイルが再生します。

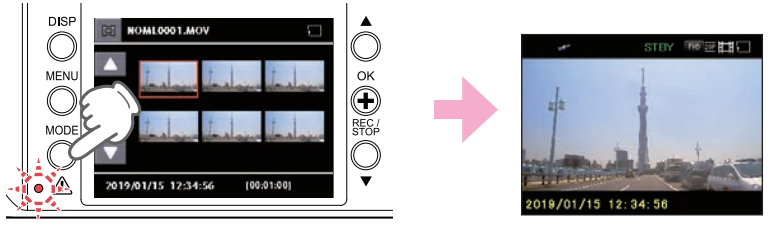
再生時のボタン機能は ＊ P.62 を参照ください。

※ファイルがない場合、ファイル選択画面上に「ファイルなし」と表示します。
※動画は1ファイル単位(約1分間)で記録されています。
※1ファイルの再生が終了すると、ファイル選択画面に戻ります。本機上で、複数ファイルの連続再生はできません。
※保護しているファイルには、ファイル選択画面で、「 」が表示されます。
ワンタッチ記録されたファイルには「 」、Gセンサー記録されたファイルには「 」が表示されます。

3. 録画を再開する

再生後は、下記の手順で録画を再開します。

3-1 ファイル選択画面で、MODEボタンを押す



動画記録モードを表示します。

3-2 OK(+)ボタンを押す

録画を開始します。

動画再生モード

動画再生モードでは、録画ファイルを本体で再生できます。

※動画再生モードの表示方法は * P.60を参照ください。

No.	表示名	説　明
①	動作アイコン	動作の状態をアイコンで表示します。
	▶	再生中に表示します。
	▶II	一時停止中に表示します。
②	記録映像	選択した録画ファイルを再生します。
③	ファイル名	再生中の録画ファイルのファイル名を表示します。
④	記録ファイル数	フォルダ内の録画ファイル数と再生中の録画ファイルを表示します。
⑤	モードアイコン	動画再生モードのアイコンを表示します。
⑥	microSDアイコン	microSDカードが挿入されていることを表示します。
⑦	再生時間	再生中の録画ファイルの現在時間/全体時間を表示します。

■ 動画再生モード時のボタンの機能

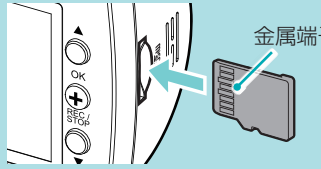
ボタン	動　作	機　能
DISPボタン	押すたびに、画面表示をON/OFFします。	
MENUボタン	ファイル選択時に押すと再生設定を表示します。(* P.47) もう一度押すと前の画面に戻ります。	
MODEボタン	動作モードを変更します。 ファイル選択時に押すと前の画面に戻ります。	
▲ボタン	ファイル選択時	前のファイルを表示します。
	ファイル再生時	前のファイルに移動します。
OK(+)ボタン	ファイル選択時	選択を決定します。
	ファイル再生時	再生、一時停止を解除します。
▼ボタン	ファイル選択時	次のファイルを表示します。
	ファイル再生時	次のファイルに移動します。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にメッセージと音でお知らせします。

※音量の設定を「0」、または操作音を「OFF」に設定している場合、音は鳴りません。

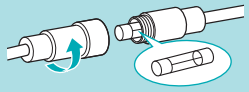
※メッセージ表示を止める場合は、OK(+)ボタンを押してください。

メッセージ	対処方法
SDカードが 挿入されていません 「SDカードが挿入されていません」	□ SDカードを挿入、または再挿入してください。 SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。  ※SDカードの向きに注意して挿入してください。
SDカードを再挿入してください 「SDカードを再挿入してください」	
SDカードを もう一度挿入してください 「SDカードをもう一度挿入してください」	
SDカードの 残容量がありません 「SDカードの残容量がありません」	□ ファイル容量がSDカード容量の上限に達しています。 録画ファイルを削除し、SDカードの空き容量を増やすとお使いいただけます。 また、メッセージが頻繁に表示される場合は下記をご確認ください。 ・録画設定の解像度を下げる。(* P.46) ・上書きモードを変更する。(* P.46) ・容量が大きいSDカードで本機を使用する。
保護されたファイルは 削除できません 「保護されたファイルは削除できません」	□ 保護を解除する(* P.47)か、SDカードをフォーマットする(* P.12)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。
SDカードが 正常に 初期化されませんでした 「SDカードが正常に初期化されませんでした」	□ 本機に対応したSDカードかご確認ください。 記録媒体：microSDHCカード 容量：8~32GB Class：10以上
SDカードの 初期化に失敗しました 「SDカードの初期化に失敗しました」	□ SDカードをフォーマットしてください。(* P.12)
SDカードの 書き込み速度が遅いです 「SDカードの書き込み速度が遅いです」	□ フォーマット後も頻繁にメッセージが表示される場合は、新しいSDカードに交換してください。

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

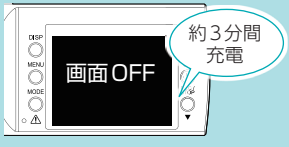
□ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。
ヒューズホルダーを矢印の方向に回してヒューズを取り出します。



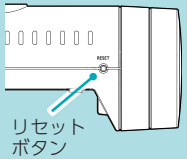
交換ヒューズ2A
(20mm×5.2mm)

□ 本体内蔵のバックアップ電池が空、もしくは充電不足です。
起動して1分後にOFFになる場合は、下記の手順で起動させることができます。ただし①の充電中は録画を行うことはできません。予めご了承ください。
電源ランプの状態(＊ P.41)を確認してから走行してください。

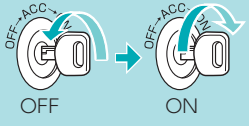
①電源ONし約3分間バックアップ電池を充電する



②リセットボタンを押す、または電源をOFF⇒ONして再起動する

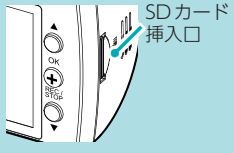


または



映像が記録できない

□ SDカードが正しく挿入されていますか。
SDカード挿入時は アイコン、未挿入時には アイコンが表示されます。



□ (SDカード異常時)アイコンになっていませんか。
SDカードが異常時、映像を記録することはできません。本機でSDカードのフォーマット(＊ P.12)を行ってください。また、本機でフォーマットしても頻繁に (SDカード異常時)アイコンが表示される場合は、新しいSDカードに交換してください。

□ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。
保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(＊ P.47)か、SDカードをフォーマットする(＊ P.12)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。
保護したファイルには、ファイル選択画面上で アイコンを表示します。

イベント記録ファイルが生成されない

□ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。
その際は、常時録画の映像をご確認ください。(＊ P.20)

イベント記録をしない

□ 動体検知機能がONになっていませんか。
動体検知機能がONの場合、イベント記録は行いません。動体検知機能をOFFしてください。(＊ P.27)

モニター画面に斑点や輝点がある

□ 液晶パネルの現象です、故障ではありません。
有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。

画面が表示されない

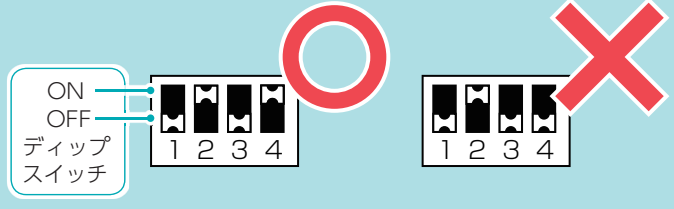
□ DISPボタンを押してください。
本機はDISPボタンを押すと、画面表示をON/OFFすることができます。(＊ P.44)

マルチバッテリー接続時に駐車記録が動作しない

□ 電源コネクタは接続されていますか。
電源コネクタが接続されていないとマルチバッテリーは充電されず、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。(＊ P.35)

□ オフタイマー設定が「使用しない」になっていませんか。
オフタイマー設定が「使用しない」になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。

□ ディップスイッチ4がOFFになっていませんか。
ディップスイッチ4がOFFになっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
例：オフタイマー設定を[1時間]に設定する場合



電圧監視機能付 電源ユニット接続時に駐車記録が動作しない

□ 電源スイッチはONになっていますか。
OFFになっている場合は、電圧監視機能付 電源ユニットは動作しません。(＊ P.40)

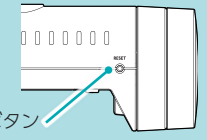
□ オフタイマー設定が「使用しない」になっていませんか。
オフタイマー設定が「使用しない」になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。

■ リセットボタンについて

画面が固まって動かない
ボタンを押しても反応しない

こんなときは

リセットボタンを押して再起動してください。



リセットボタン

動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、本体下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。
※リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。

仕 様

外形寸法 (突起部除く)	98(W)×45(直径)mm (突起部除く) ※取付ブラケット (テープ貼付)装着時58(H)mm (窓ガラス25°想定の場合)
本体重量	約82g (microSDカード含む)
記録媒体	microSDカード (8GB付属) 8GB ～ 32GB (Class10以上)
撮影素子	200万画素カラー CMOS
レンズ画角	対角130°
最大記録画角※1	対角130° (110° (水平)、60° (垂直))
記録解像度	最大200万画素
	1080P HD(1920 × 1080)／720P(1280 × 720)／VGA(640 × 480)
GPS	有
Gセンサー	有　0.5G ～ 5.0G (0.1G単位で感度設定可能)
画質	HDR (ハイダイナミックレンジ)
記録方式	常時録画／イベント記録 (Gセンサー記録、ワンタッチ記録<手動録画>)
録画ファイル構成	1分単位
画面サイズ	2.0インチ　フルカラー TFT液晶
音声	ON／OFF可能
フレームレート	27.5コマ/秒、20コマ/秒、10コマ/秒
映像ファイル形式	MOV
記録映像 再生方法	・専用ビューアソフト※2 (弊社ホームページよりダウンロードできます。) ・Windows標準のWindows Media Player※2
電源電圧	DC12Vマイナスアース車専用 (5V入力)
消費電力	5W
動作温度範囲	0℃～＋60℃
製品保証期間	1年 (消耗品は除く)

※上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。
※1：解像度により記録される視野角が変化します。
超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。
※2：Microsoft Windows10、8、7に対応

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V(最大6A)
出力電圧	出力端子B：12V(1A)
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
内蔵電池	ニッケル水素電池　12V/4,000mAh
動作温度範囲	0～45℃
外形寸法	144(W)×33(H)×131(D)mm(突起部除く)
本体重量	約950g(内蔵電池含む)

別売品：電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	DC12V/24V(入力に準ずる)
検出電圧設定値	12V車：11.6V/11.8V/12V/12.2V、24V車：23.6V/23.8V/24V/24.2V
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
動作温度範囲	-10～60℃
外形寸法	46(W)×36(H)×16(D)mm(突起部除く)
本体重量	約34g

・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

microSDカード対応一覧表

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

記録媒体	microSDHCカード
容量	8～32GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

■ 常時録画

※録画コマ数：27.5コマ/秒の場合

SDカード容量	1080P HD(初期値)	720P	VGA
32GB	約120分	約200分	約640分
16GB	約60分	約100分	約320分
8GB(付属品)	約30分	約50分	約160分

■ イベント記録(Gセンサー記録/ワンタッチ記録)

※録画コマ数：27.5コマ/秒の場合

SDカード容量	1080P HD(初期値)	720P	VGA
32GB	約48分/約36分	約80分/約60分	約256分/約192分
16GB	約24分/約18分	約40分/約30分	約128分/約96分
8GB(付属品)	約12分/約9分	約20分/約15分	約64分/約48分

■ 動体検知

※録画コマ数：10コマ/秒に固定

SDカード容量	1080P HD(初期値)	720P	VGA
32GB	約80分	約160分	約400分
16GB	約40分	約80分	約200分
8GB(付属品)	約20分	約40分	約100分

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
※記録方法によってSD カードファイル容量の上限がそれぞれ決められています。
詳細は＊ P.21「ファイル容量の目安について」を参照ください。

お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度(＊ P.46)により録画可能時間は変化します。

索引

記号
▲ボタン …… 15, 18, 46, 62
▼ボタン …… 15, 18, 46, 62

A
ACアダプター …… 16

D
DCジャック …… 14
DISPボタン …… 15, 18, 46, 62

G
GPS …… 67
GPSアイコン …… 18
Gセンサー …… 67
Gセンサー感度 …… 21, 47
Gセンサー記録 …… 20
Gセンサー設定 …… 47

M
MENUボタン …… 15, 18, 46, 62
microSDアイコン …… 18, 62
MODEボタン …… 15, 18, 46, 62

O
OK(+)ボタン …… 15, 18, 46, 62
OP-E368 …… 16
OP-MB4000 …… 16, 24, 34, 68
OP-VMU01 …… 16, 24, 37, 68

S
SDカード …… 10, 15, 17, 69
SDスピードクラス …… 69

あ
アフターサービス …… 72

い
イベント記録 …… 19, 20

う
上書き禁止 …… 22, 47
上書きモード …… 22, 47

え
映像ファイル形式 …… 67
延長録画 …… 23

お
お客様ご相談センター …… 72
音声 …… 67
音声録音 …… 44, 46
音声録音OFFアイコン …… 18
音量 …… 47

か
外形寸法 …… 67
解像度 …… 18, 46
画質 …… 67
画面サイズ …… 67
画面自動オフ …… 51, 52

き
共通設定 …… 51
記録映像 …… 62
記録解像度 …… 67
記録時間 …… 18
記録媒体 …… 67, 69
記録ファイル数 …… 62
記録方式 …… 67
記録マーク …… 18

さ
再生時間 …… 62
再生設定 …… 47
再生方法 …… 67
最大記録画角 …… 67
撮影素子 …… 67

し
常時録画 …… 19, 20
常時録画上書 …… 23, 47
消費電力 …… 67
シリアルナンバー …… 14

す
スピーカー …… 14
全て上書き …… 23, 47

せ
製品保証期間 …… 67
設定初期化 …… 51
設定メニュー …… 46
専用ビューアソフト …… 55, 57

そ
操作音 …… 51

て
電圧監視機能付 電源ユニット …… 16, 24, 37, 68
電源直結コード …… 15, 24, 33
電源電圧 …… 67
電源ランプ …… 14, 41

と
動画記録モード …… 18
動画再生モード …… 60, 62
動作アイコン …… 62
動作温度範囲 …… 67
動体検知アイコン …… 18
動体検知機能 …… 25

な
ナット …… 14

に
日時 …… 51

は
バージョン …… 51

ふ
ファイルアイコン …… 18
ファイル消去 …… 47, 48
ファイル保護 …… 47, 49
ファイル名 …… 53, 62
ファイル容量 …… 21
フォーマット …… 12, 50
フォルダ構造 …… 53
付属品・別売品の購入 …… 16
ブラケット …… 14
フリッカレス …… 51
フレームレート …… 67

ほ
本体重量 …… 67

ま
マイク …… 14
マルチバッテリー …… 16, 24, 34, 68

め
メンテナンス …… 24

も
モードアイコン …… 18, 62

よ
容量 …… 69

り
リセットボタン …… 14, 66

れ
レンズ …… 14
レンズ画角 …… 67

ろ
録画コマ数 …… 18, 46
録画時間 …… 69
録画設定 …… 46
録画ファイル構成 …… 67

わ
ワンタッチ記録 …… 21, 43

索引

その他